



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会社名 戸田工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 寶來 茂
(コード番号 4100 東証第 1 部)
問合せ先 経営企画室長 青木 功荘
(TEL. 082-577-0055)

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異及び
営業外費用、特別利益並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 30 年 3 月期におきまして、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績の差異 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 34,000	百万円 1,600	百万円 1,800	百万円 1,100	円 銭 191.02
実績値 (B)	32,781	1,370	1,195	981	170.43
増減額 (B - A)	△1,218	△229	△604	△118	△20.59
増減率 (%)	△3.6	△14.3	△33.6	△10.8	△10.8
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	27,889	△151	△1,116	△2,926	△508.13

(注) 平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

差異の理由

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、平成 29 年 11 月 10 日付「平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに営業外収益の計上に関するお知らせ」にて開示いたしましたが、その後において、為替が円高に振れたこと及びリチウムイオン電池用正極材料事業に関連する販売等が想定より下回ったことから、売上高が減少いたしました。

加えて、市場における原燃料高騰の影響により、営業利益が減少し、後述のとおり、為替差損及び持分法による投資損失並びに連結子会社の設備の減損損失の計上に伴い、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても当初予想を下回りました。

2. 連結決算における営業外費用の計上

第3四半期連結累計期間において持分法による投資損失 22 百万円を計上しておりましたが、その後の持分法適用関連会社の損失計上により、第4四半期連結会計期間において持分法による投資損失 179 百万円を計上した結果、当連結会計年度において持分法による投資損失 202 百万円を営業外費用に計上いたしました。

また、第3四半期連結累計期間において為替差益 113 百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の変動により、当第4四半期連結会計期間において為替差損 130 百万円を計上した結果、当連結会計年度においては為替差損として 16 百万円を営業外費用に計上いたしました。

3. 連結決算における特別利益の計上

平成 30 年 3 月 8 日に「合弁事業の開始に関するお知らせ」にて開示いたしましたように、当社の連結子会社である戸田アメリカ INC. が保有するバトルクリーク工場（米国ミシガン州）の資産を戸田アメリカ INC. と BASF Corporation の合弁会社である BASF 戸田アメリカ有限責任会社に譲渡したことに伴い、譲渡益 872 百万円を特別利益として計上いたしました。

4. 連結決算における特別損失の計上

当第4四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である戸田アドバンストマテリアルズ INC. が保有する電子素材事業の固定資産について収益性の低下が見られるため、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 333 百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上